

競技ガイドライン

- プレイヤー・チーム役員は健康管理チェック表を提出する。（未記入箇所所有りの場合は参加不可）
- 微熱・体調が優れないプレイヤー・チーム役員は、参加不可。
- ※参加不可になったプレイヤーが、当日発生することが想定されます。
- 全国予選以外は、プレイヤーが規定人数を下回るチームの試合も、試合成立となるよう調整する。
→競技部長が代表者会議で事前確認を行う。
- 各チームで消毒液を用意し、こまめに手の消毒をすること。
- チームのミーティング等は短時間にし、密集する時間を少なくすること。

- 1アリーナ、2コート以内を基本とする。コートの間隔は、可能な限り広げる。
- チームの動線は、一方通行を基本とする。
- チームの待機時、プレイヤー・チーム役員はマスクを着用する。必要以上の会話はしない。
- プレイヤーズベンチでは、チーム役員、控えプレイヤーはマスクを着用する。
プレイヤーは、希望があればマスク着用を許可する。
- プレイヤーズベンチは、イスを設置しない。通常時より大きめに設置する。

- ボールは、試合終了後に必ず消毒を行う。
（3セットマッチの場合は、セット毎にボールを交換し消毒を行う。）
- 旗・タイマー・オフィシャルグッズ等は、使用者が変わるごと消毒する。
- 競技に差し支えないときは、窓・ドア・出入口などを開けて競技を行う。
ただし、気温に応じて窓・ドア・出入口を閉めて競技し、一定間隔の時間で換気を行う。

- 試合開始時・試合終了時のプレイヤー・監督の握手はなし。
- 監督が、記録用紙へサインするときは、持参の筆記用具にて行う。
- セットアップスタート、ベンチバックを基本とする。
- 声を出しての応援は控え、拍手・手拍子などにとどめる。

審判員

- 審判員は、健康管理チェック表を提出する。（未記入箇所所有りの場合は参加不可）
- 微熱、体調が優れない審判員は、参加不可。
- こまめに手の消毒をすること。（消毒液は、大会実行委員会で用意するのが望ましい）
- オフィシャルはマスクを着用する。コートマスター・計時は、電子ホイッスルを使用する。
- 審判ミーティング等は短時間にし、密集する時間を少なくすること。

- アリーナ内は、飲食時以外はマスクを着用する。
- 電子ホイッスルの使用を許可する。
- オフィシャルは、コートマスター・計時・記録・控え審判員以外は着席しない。

- アサインされてない休憩の審判員は、審判員同士の間隔を取り、待機場所で休憩を取る。
- 審判員の水分補給は、個人にペットボトルなどを配布することが望ましい。
ジャグなどの共有での提供は避け、紙コップも机に置きっぱなしにはしない。
- 審判員の昼食は、分散して取るように配慮する。
- コート責任者は、可能な限り班分けしてのアサインメントを作成する。
- アサインメントは、可能な限りアサインが連続しないように作成する。

- 6 審は、熱中症のリスクが高まるのでマスク・フェイスシールドを着用しない。※暫定
- プレイヤーとの距離を保ち、笛もそのまま使用する。※暫定
笛は、試合前後に必ず洗浄・消毒する。オフタイムアウト時は、洗浄することが望ましい。

- 審判員は、ミニタオルを携帯する。
- 安全確認では審判員とプレイヤーの接触が考えられます。
 - ・ 主審がプレイヤーの安全確認を行うときは、ミニタオルを口に当てる。
 - ・ 安全確認でプレイヤーに接触が有れば、消毒を行う。
 - ・ 6 審で協議を行うときは、ミニタオルを口に当てながら行う。